

## 「学校関係者評価報告書」の公表について

本校では、以前より教育や業務の改善を図るために、自己点検・評価に取り組んでおります。平成25年度から、卒業生を含め本校に関係の深い企業関連の方々を中心に「学校関係者評価委員会」を設置し、ご意見等をお聞きして、教育活動や学校運営に反映させてまいりました。

本年度は、学校関係者評価委員会を平成30年5月18日に開催しました。その結果を、保護者や地域社会の皆様方に対し、説明責任を果たし、理解と協力を得るために「学校関係者評価委員会報告書」としてここに公表いたします。

学校関係者評価委員会では、本校が行った自己点検評価や学校運営上の重点項目に対して、多くのご意見やご助言をいただきました。本校では、これらのご指導項目を真摯に受け止め、より良い教育、学校運営を実現するために、教職員一同努力して組織的・継続的な改善を続けて参ります。

学校に対するご支援や条件整備等の充実に対して、引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます。

平成30年6月  
学校法人京都中央学院  
〈専〉Y I C 京都工科自動車大学校  
校長 杉山 征人

## 学校関係者評価委員会報告

学校関係者評価は、文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえ、本校に関係の深い企業等の評価委員に、〈専〉Y I C 京都工科大学校の「平成29年度自己点検・評価報告書」の「次年度改善計画（重点項目）」を中心に、評価していただいた。

評価委員からの意見は、校長以下、本校教職員で組織する評価委員会が承り、その内容等について要約の上、報告書として取りまとめた。

「平成29年度自己点検・評価報告書」と併せてご覧いただきたい。

### 学校関係者評価委員会 委員

(敬称略)

| 委員名    | 所属等                       | 選出区分 |
|--------|---------------------------|------|
| 徳田 悦生  | 一般社団法人京都府自動車整備振興会<br>専務理事 | 業界団体 |
| 金塚 昭   | 株式会社スズキ自販京都<br>代表取締役      | 業界企業 |
| *後藤 敬一 | 滋賀ダイハツ販売株式会社<br>代表取締役     | 業界企業 |
| 松井 強介  | 新和自動車株式会社<br>取締役統括店長      | 業界企業 |
| 森脇 勝幸  | いすゞ自動車近畿株式会社<br>経営管理部 室長  | 業界企業 |
| 木下 敬朗  | 株式会社レオタニモト<br>サービス部長      | 業界企業 |
| 鳥本 美紀  | 株式会社レオタニモト                | 卒業生  |

注) \* 委員長

任期：平成29年 4月 1日～平成31年 3月31日

### 学校事務局（評価委員会）

|       |                       |     |
|-------|-----------------------|-----|
| 杉山 征人 | 〈専〉Y I C 京都工科大学校 校長   | 事務局 |
| 細田 元一 | 〈専〉Y I C 京都工科大学校 副校長  | 事務局 |
| 喜多 好洋 | 〈専〉Y I C 京都工科大学校 教務課長 | 事務局 |
| 内田 幸治 | 〈専〉Y I C 京都工科大学校 管理部長 | 事務局 |

## 平成 30 年度 第 1 回学校関係者評価委員会 議事録

場 所：〈専〉YIC 京都工科大学校 1 号館 3 階 131 教室

日 時：平成 30 年 5 月 18 日（金） 13:30～15:30

参加委員：一般社団法人京都府自動車整備振興会：千葉様（徳田様代理）

株式会社スズキ自販京都：八幡様（金塚様代理）

滋賀ダイハツ販売株式会社：根本様（後藤様代理）

親和自動車株式会社：松井様

いすゞ自動車近畿株式会社：森脇様

株式会社レオタニモト：木下様

株式会社レオタニモト（卒業生）：鳥本様

事 務 局：杉山校長、細田副校長、内田管理部長

喜多工科自動車大学校教務課長、山根アメーバ経営推進室長

欠 席：なし

オブザーバー：工科自動車大学校教頭：西岡、キャリアサポート室長：飛田、自動車整備科長：西尾

議 事 録：山根

1. 校長あいさつ

2. 教職員紹介

3. 関係者評価委員紹介

4. 定員数確認、委員長の選出（副校長）

- ・ 全員出席で過半数を満たし、本委員会は成立する。
- ・ 委員長に根本委員を推薦、全員の賛同により承認された。

5. 配布資料等確認

6. 平成 29 年度の自己点検評価結果について（副校長）

「平成 29 年度〈専〉YIC 京都工科自動車大学校 自己点検・評価結果」に基づき、以下の項目の説明があった。

- ① 1. 教育理念・目標
- ② 2. 学校運営
- ③ 7. 学生の受入れ募集
- ④ 8. 教育の内部保証システム
- ⑤ 9. 財務
- ⑥ 10. 社会貢献・地域貢献
- ⑦ 11. 国際交流

7. 平成 30 年度の取り組みへの意見

| 大項目名            | 項目番号 | ご意見（委員）   | 回答（事務局）  |
|-----------------|------|---|--|
| 1. 教育理念・目標      | 1-1  | 学校の理念、想いを学生に伝える場は存在するのか。  | 各教室の掲示、学生便覧への記載・配布、オリエンテーションでの説明等で学生へ伝えている。                              |
| 1. 教育理念・目標      | 1-3  | 今後は難解修理等の内容をメーカーが開示するようになる。ディーラーと専業で同レベルの修理が可能となる。学校教育でもそれを見越した教育が今後は必要になるかもしれない。   | 昨今の自動車業界の変化から業界としてのニーズの変化が出始めているのかという質問を実施。                              |
| 1. 教育理念・目標      | 1-3  | 今後二輪でもハイブリッドが本格化してくる可能性がある。学校教育でも今後はハイブリッドを導入する必要性が出てくる。  | 昨今の自動車業界の変化から業界としてのニーズの変化が出始めているのかという質問を実施。                              |
| 1. 教育理念・目標      | 1-3  | トラックに関しては故障を未然に防ぐ事に力を入れてきている。点検を何故しなければならぬのか、若い間に身につける必要がある。  | 昨今の自動車業界の変化から業界としてのニーズの変化が出始めているのかという質問を実施。                              |
| 2. 学校運営         | 2-12 | （企業で取り組んでいる業務効率化にはどのようなものがあるのかという質問に対する回答）LINE 等のコミュニケーションツールの活用。環境整備。勤怠の WEB 管理。iPad の導入。お客様にはアナログで、バックヤードはデジタルで、という取り組みを実施。 | 学校における業務効率化は何のためにあるのか。働き方改革。雑用を可能な限り削減し、教育に時間を割く。業務効率化により自己研鑽に励む時間を創り出す。 |
| 8. 教育の内部質保証システム | 8-8  | （教員と社員の交換に関して）現場としても人員が足りておらず厳しい状況。また、内容的にも対応できるのかが心配である。   | より良い授業を展開する為にも教員と社員の交換派遣は実現したい。  |
| 10. 社会貢献・地域貢献   | 10-2 | 学生とともに参加する清掃ボランティアに是非とも今年中に 1 回開催できればと考える。  | カリキュラムにボランティア活動を入れてはいるが、学校としてボランティア活動に取り組む。                              |

8. 今後の予定（副校長）

年 1 回の実施のため、平成 30 年度の委員会はこれで終了。

※委員会開催必要がある場合はお声掛けする。

以 上